

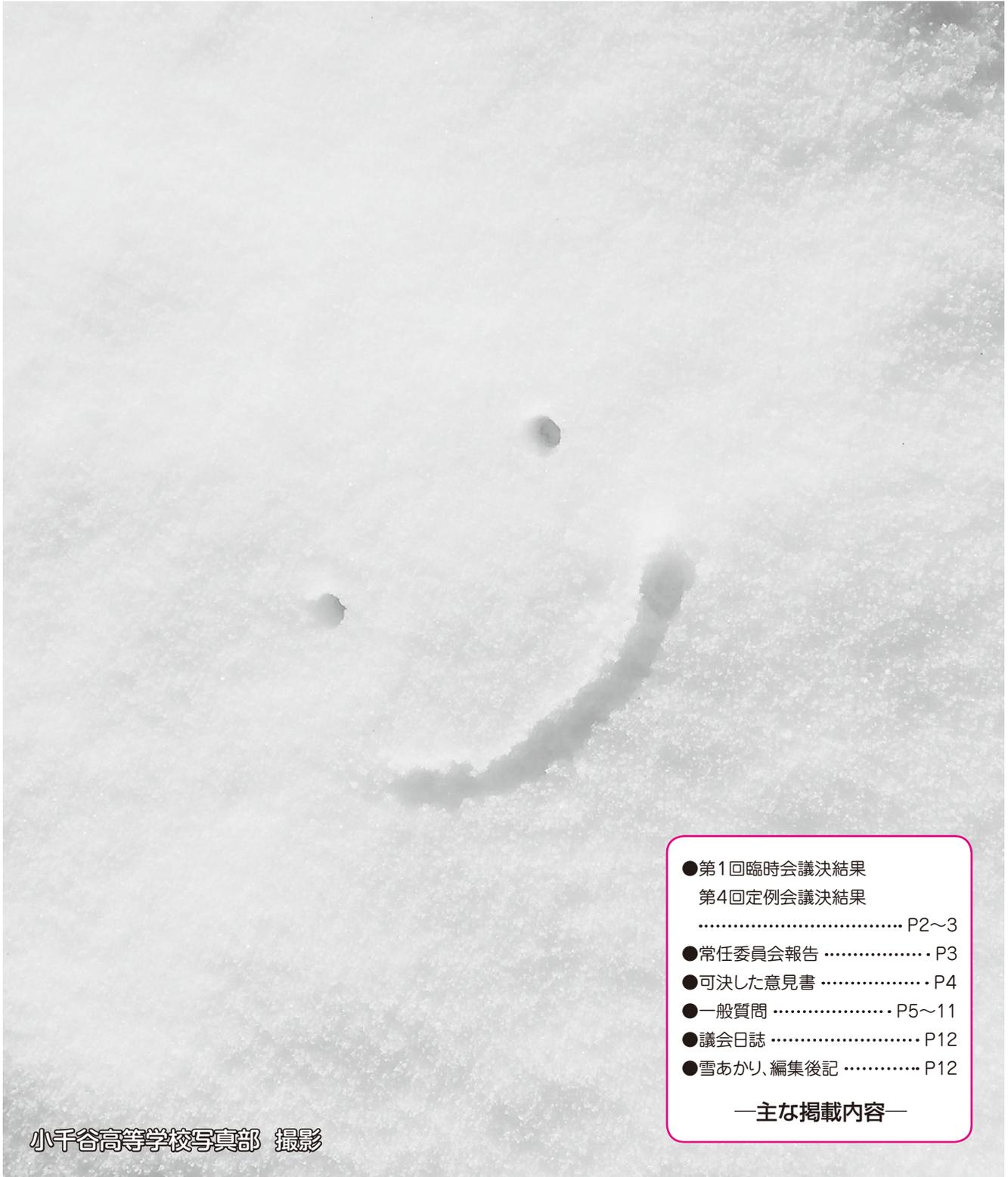
おぢや市議会 だより



NO. 99
令和3.1.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505

OJIYA CITY ASSEMBLY



- 第1回臨時会議決結果
第4回定例会議決結果
..... P2~3
- 常任委員会報告 P3
- 可決した意見書 P4
- 一般質問 P5~11
- 議会日誌 P12
- 雪あかり、編集後記 P12

—主な掲載内容—

小千谷高等学校写真部 撮影

明けましておめでとうございます



議長 田中 淳

皆様におかれましては、輝かしい新年を迎え希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より小千谷市議会への深いご理解と、議会活動に対する温かいご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。年が令和3年に改まり、昨年一昨年とは一変し昨年末からの大雪のスタートとなりました。

昨年を振り返りますと、年初めから大晦日まで新型コロナウイルス関連に明け暮れた2020年でありました。世界的な経済不況の中、本来ならば大きな経済効果や賑わいを期待し創出される東京オリピック・パラリンピック競技大会の開催が、一年延期と

なったことはご案内のとおりであります。

一方、教育現場や職場環境において見受けられたように、遠隔で通常の教育や業務をどのように行えるか、人間が本来持っているコミュニケーション能力の転嫁を瞬時にどう伝えることができるのか。当たり前の生活に対する備えについて考えさせられる年でもありました。

しかしながら地の利だけでなく、自然環境や社会情勢による経済の沈滞においても鴻巣産業団地に進出する企業があるなど、当市を取り巻く環境は先行き必ずしも暗い要素ばかりではないと察しております。

市議会として、これからも小千谷市の更なる発展を目指すとともに小千谷市民の皆様が安心して暮らせる環境づくりに励んでまいりたいと存じます。

皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。挨拶といたします。

第1回臨時会 議決結果 (11月30日開催)

| 議案番号等 | 議 件 名 | 議決状況 | 議決結果 |
|-------|---|------|------|
| 条 例 | 議案第94号 小千谷市長、副市長及び教育長の給与額並びにその支給に関する条例の一部改正 | 全会一致 | 原案可決 |
| | 議案第95号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部改正 | 賛成多数 | 〃 |
| | 議案第96号 小千谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正 | 〃 | 〃 |
| その他 | 議案第97号 財産の取得〔中型バス〕 | 全会一致 | 〃 |
| | 議案第98号 損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定 | 〃 | 〃 |
| 発 議 | 発議案第7号 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 | 〃 | 〃 |

第4回定例会 議決結果 (12月2日から12月22日まで開催)

| 議案番号等 | 議 件 名 | 議決状況 | 議決結果 |
|-------|---|------|------|
| 条 例 | 議案第99号 小千谷市職員の給与に関する条例の一部改正 | 全会一致 | 原案可決 |
| | 議案第100号 小千谷市入湯税条例の一部改正 | 〃 | 〃 |
| | 議案第102号 小千谷市民の家条例の一部改正 | 〃 | 〃 |
| | 議案第105号 小千谷市下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正 | 〃 | 〃 |
| | 議案第106号 小千谷市農業集落排水施設整備事業分担金徴収条例の一部改正 | 〃 | 〃 |
| | 議案第101号 小千谷市国民健康保険税条例の一部改正 | 〃 | 〃 |
| | 議案第103号 小千谷市後期高齢者医療に関する条例の一部改正 | 〃 | 〃 |
| | 議案第104号 小千谷市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正 | 〃 | 〃 |
| 予 算 | 議案第107号 令和2年度小千谷市一般会計補正予算(第7号) | 〃 | 〃 |
| | 議案第108号 令和2年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第4号) | 〃 | 〃 |
| | 議案第109号 令和2年度小千谷市介護保険特別会計補正予算(第3号) | 〃 | 〃 |
| | 議案第110号 令和2年度小千谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) | 〃 | 〃 |
| | 議案第111号 令和2年度小千谷市ガス事業会計補正予算(第1号) | 〃 | 〃 |
| | 議案第112号 令和2年度小千谷市水道事業会計補正予算(第2号) | 〃 | 〃 |
| | 議案第113号 令和2年度小千谷市工業用水道事業会計補正予算(第1号) | 〃 | 〃 |
| | 議案第114号 令和2年度小千谷市下水道事業会計補正予算(第1号) | 〃 | 〃 |

| 議案番号等 | 議 件 名 | 議決状況 | 議決結果 | |
|-------|-----------|--|------|-------|
| その他 | 議案第115号 | 小千谷市の公の施設(住民センター)の指定管理者の指定 | 全会一致 | 原案可決 |
| | 議案第116号 | 小千谷市の公の施設(吉谷トレーニングセンター)の指定管理者の指定 | 〃 | 〃 |
| | 議案第117号 | 小千谷市の公の施設(総合福祉センター)の指定管理者の指定 | 〃 | 〃 |
| | 議案第118号 | 小千谷市の公の施設(地域福祉センター及び克雪管理センター)の指定管理者の指定 | 〃 | 〃 |
| | 議案第119号 | 小千谷市の公の施設(障害者支援センターさつき工房)の指定管理者の指定 | 〃 | 〃 |
| | 議案第120号 | 小千谷市の公の施設(総合産業会館サンプラザ及び錦鯉の里)の指定管理者の指定 | 〃 | 〃 |
| | 議案第121号 | 小千谷市の公の施設(駐車場)の指定管理者の指定 | 〃 | 〃 |
| 発 議 | 発議案第8号 | 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書 | 〃 | 〃 |
| 請 願 | 請 願 第 4 号 | 種苗法一部改正案の撤回を求める意見書に関する請願 | 賛成少数 | 不 採 択 |

議員賛否の状況 (採決において賛否が分かれたもの)

| 議案番号等 | 議決結果 | 賛成 | 反対 | 阿部守男 | 平澤智 | 上村行雄 | 駒井和彦 | 大矢弘光 | 佐藤栄作 | 森本恵理子 | 住安康一 | 内山博志 | 佐藤隆一 | 吉崎進 | 久保田陽一 | 長谷川有理 | 田中淳 | 山賀一雄 | 本田剛 |
|--------|------|----|----|------|-----|------|------|------|------|-------|------|------|------|-----|-------|-------|-----|------|-----|
| 議案第95号 | 原案可決 | 11 | 4 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | × | - | ○ | ○ |
| 議案第96号 | 〃 | 12 | 3 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ |
| 請願第4号 | 不採択 | 5 | 10 | ○ | × | × | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | × | × | ○ | - | × | × |

※ ○は賛成、×は反対、議長(田中淳)は採決に加わりません。

常任委員会報告

総務文教委員会

委員長 上村 行雄

本委員会に付託されました議案第99号、議案第100号、議案第102号、議案第105号から議案第107号まで、議案第111号から議案第116号まで、議案第120号の以上13件について、審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第107号 令和2年度小千谷市一般会計補正予算(第7号)について

委員会での意見・討論

・4款予防費の感染予防事業PCR検査委託料に関して、国の制度云々でなく、早く手を打つことで市民が安心して生活できると思う。制度で補助金がないからでなく、事業そのものをどのようにに捉えているか、十分に市役所をあげて協議した上で取り組むようお願いしたい。

・討論として、コロナ禍で職務に励む職員手当の引き下げには配慮すべきと考える。またコロナ禍において小規模事業者や生活苦の市民に、もっと積極的な支援に取り組むよう意見を付けて賛成。

民生産業委員会

委員長 住安 康一

○第3回定例会において継続審査となっていた、請願第4号種苗法一部改正案の撤回を求める意見書に関する請願について

令和2年11月12日に委員会を開催し、慎重に審査した結果、採択しないものと決しました。

委員会での意見・討論

・農作物については、最低でも1年間待たないと、どんなものができてくるかわからず、簡単に結論が出るようなものではない。工業的なものなどには、知的財産権というのはいくら認められているが、種苗法だけ例外とすることは納得できないので、種苗法の改正案撤回には反対。

・討論として、種苗法改正案によって、日本の種・苗木が海外に流出しないように、出るときは手続きと許諾を必要とする制度に改めるべきであり、この撤回を求める本請願に反対。

・優秀な登録品種の海外流出を止めるためには、相手国で品種登録をする以外に方法はなく、種苗法の改正については自家採

取と切り離したうえで法案を作成することが必要と考える。改正案は、農家の自家採取を禁止したうえで農家から海外に流出することを防ぐということで、これは手順前後となっており、方法の選択を誤っている。また、ゲノム編集を使った品種改良など、開発は飛躍的に進歩していることなどもあり、海外企業に種子を押さえられることは食料安全保障上非常に危ういと考えるため、本請願に賛成。

第4回定例会において本委員会に付託されました議案10件について、慎重に審査した結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第121号 小千谷市の公の施設(駐車場)の指定管理者の指定について

委員会での意見

・駅北駐車場には区画線外に駐車している車があり、交通に支障をきたしている。指定管理者が示した事業計画概要には施設の維持管理の事項にも記載されているが、改めて管理について指定管理者に対し指導してほしい。

第4回定例会で可決した意見書

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

【内容】

政府が認定した拉致被害者17名のうち、本県関係者が5名を占め、そのうち、横田めぐみさんや曾我ミヨシさんはいまだ帰国を果たしていません。さらに、新潟県警が拉致の可能性を排除できない事案として捜査を行っている本県関係者は特定失踪者6名を含めて27名に上りません。本県にとって拉致事件は非常に重大な問題であり、国政の課題が山積する中であっても、拉致問題を埋没されてはなりません。

菅総理は、就任記者会見で、拉致問題に関して「米国などの関係国と緊密に連携する」と述べ、全ての拉致被害者の一日も早い帰国に向け全力を挙げる考えを示しました。また、再度拉致問題担当大臣に就任した加藤官房長官も会見で、米国など関係国としっかりと連携をとっていく考えを示し、「一刻の猶予もない」と解決に意欲を示しています。

拉致問題の解決に向けた進展が見られない中、本年6月、横田めぐみさんの父、滋さんが他界されました。被害者自身やその家族も高齢化しており、もはや一刻の猶予もない状況に置かれていることから、早急に拉致被害者及び特定失踪者全員の即時帰国を実現しなければなりません。

よって、国会及び政府におかれては、今後とも拉致問題を「最優先、最重要課題」と位置付け、米国をはじめとする国際社会と連携を強化し、圧力に重点を置いた姿勢を貫きつつ、対話も視野に入れたあらゆる手段を講じて、時機を逸することなく、拉致被害者及び特定失踪者全員の即時帰国を実現するよう強く要望します。

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、拉致問題担当大臣

～意見書とは～

市の公益に関することについて、議会の意思を意見としてまとめた文書のことをいいます。議決された意見書は、国会や関係行政庁に提出します。

議会用語豆知識

① 開議

その日の会議（本会議）を開くことで、議長の宣言により開きます。

② 議事日程

その日の会議で審議する議題の順序を記載したものです。

③ 散会

議事日程に記載されたことがすべて終了し、その日の会議を閉じることです。

④ 議席

本会議で議員が着席する場所。議席には、番号と氏名標を付けています。

⑤ 継続審査

会期中に結論が出なかった議案などは廃案となりますが、引き続き審査ができるよう、議会の議決により、次の会期に継続することができます。

⑥ 採決

議案などについて、出席議員に賛成・反対の意思表示を求めることです。簡易採決、起立採決、投票による採決があります。



久保田陽一 議員



インフルエンザ助成・ 火焰街道連携協議会

質問 実施計画に明記されているが、なぜ子どもインフルエンザ予防接種助成が実施されないのか。担当課内、医師会等と議論、実施についての検討はなされたのか。

答弁 子どもへのインフルエンザ助成に係る事業について、総合計画前期基本計画に記載上はないことから、現在策定中の小千谷市総合計画後期基本計画の計画期間内の事業開始に向けて調整している。担当課において、事業の実施に向けて他市の制度を参考にしながら、具体的な内容を整理したうえで、市内医療機関や医師会などへの説明も順次行っていく予定。

質問 妊婦への助成については、出産・子育て支援の充実と妊婦の感染予防対策の有効な手段の一つという観点から、実施の可否について判断していきたい。

質問 小千谷市から火炎土器が出土しているにもかかわらず、なぜ信濃川火焰街道連携協議会に加入しないのか。

教育長答弁 火焰型土器について理解を深め、対外的にアピールすること自体は連携協議会に加入しなくても十分可能であると考えている。

質問 郷土資料館開館に向けて、今後信濃川火焰街道連携協議会加入を検討する必要があるのでは。

教育長答弁 加入することが目的ではなく、何を達成するため加入すべきかという観点で考えるべきであり、当市・市民にとって有益かどうかを見極める必要がある。また、東京オリピック・パラリンピック終了後、その活動が明確になった時点で再度検討したい。



駒井 和彦 議員



地方制度調査会最終答申・ 柏崎刈羽原発再稼働について

質問 答申についての見解は。

答弁 概ね答申と同様の所感を持っている。行政のデジタル化、広域連携等、全国市長会の意見が適切に反映されている。

質問 第5次小千谷市総合計画後期基本計画へ、内容は反映されているか。

答弁 概ね重なる内容で策定を進めている。

質問 マイナンバーカード普及の阻害原因、現状認識と今後の取り組みについて。

答弁 カード活用の必要性が少ないことが、普及の進まない要因。今後、健康保険証、運転免許証と一体化することにより、利便性が向上し普及すると考える。

質問 行政のデジタル化により、住民の暮らしはどう変わるか。行政の負担軽減をどのように捉えているか。

答弁 住民は、時間や場所を制限されることなく、多くの手続きをオンラインで可能となる。行政は、紙媒体から電子媒体での管理となり、諸々事務の効率化に繋がる。

質問 原発再稼働について、事前了解権を有した安全協定を、東京電力ホールディングス(株)と締結すべき。また、UPZ圏内議員研究会設立の評価と合わせて伺う。

答弁 新潟県が県内市町村を包含しており、技術委員会による検証により、知事が計画等に対する判断をすることになり、この判断を尊重する。原子力は国策であり、事前了解の範囲等については、国レベルで検討すべきものと考ええる。当該議員研究会については、議員研究会としての活動に関するものであり、コメントする立場にはない。

質問 SDGsについて、長岡技術科学大学と進めている取り組みについて。

答弁 昨年、国のポイント事業認定3社のうち2社が、研究・試作品開発に取り組んでいる。



本会議をインターネット中継しています

市議会ホームページからインターネットライブ中継でご覧いただけます。本会議当日のライブ中継のほか、本会議終了後概ね1週間後には、録画映像も配信しています。スマートフォンやタブレット端末でQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画中継をご覧いただけます。また、会議録も市議会ホームページで閲覧できます。(令和2年第4回定例会の会議録掲載は、2月末頃となります。)

URL <https://www.city.ojiya.niigata.jp/site/gikai/>

小千谷市議会

検索

山賀 一雄 議員



地域医療体制の充実について

質問 厚労省が示した公立病院等の再編統合議論の推移を伺う。

答弁 期限を令和2年9月までとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、実質的な期限が延期状態となっている。国は、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、地域医療構想に関する取り組みを改めて示すこととした。

質問 厚生連小千谷総合病院の存続は揺るぎないものと理解しているが、見解を伺う。

答弁 国が公表した再編統合の議論が必要な医療機関に含まれているが、直ちに再編統合に繋がるものではないと認識している。小千谷総合病院は、市内はもとより、近隣地域の医療を支える重要な医療機関であると捉えているので、存続に向けた取り組みを進めていく。

質問 将来にわたっても地域の中心核、市民病院であることを願うならば、市民の声を病院に届けるべきと考えるが見解を伺う。

答弁 小千谷総合病院の運営審議委員会に参画し、意見等を発言している。必要な事項については、その都度病院を訪れ情報交換や意見交換等を行っている。

質問 さくら病院は、小千谷総合病院と同様に地域医療機関と考えるが、同病院の大規模改築に対する財政支援について伺う。

答弁 施設の老朽化を踏まえ、一部建て替えるとの説明は受けているが、具体的な計画、財政支援等は聞いていないので、今後の展開は言うことができない。

総合支援学校のスクールバス増車について

質問 児童生徒の増加に伴いスクールバスを増車すべき。現行の台数で十分と考えているのか。また、ピストン運行は、止むを得ないと考えているのか。

教育長答弁 変動する児童生徒数及び支援の程度により、2台体制、ピストン運行ありきという概念でなく、児童生徒の負担にならないよう努めるとともに、無理のない運行計画により柔軟に対応したい。

住安 康一 議員



地球温暖化対策について

質問 温室効果ガスの排出に対する目標を明確にすべき。そして、2050年までに温室効果ガス実質ゼロにするという目標を掲げ、ゼロカーボンシティ宣言すべき。

答弁 ゼロカーボンシティに向けて、どのような行動を具現化すべきかを念頭に置きつつ、宣言については、効果的な時期を見極め、対応していきたい。

質問 ISO 14001またはエコアクション21に基づく環境マネジメントシステムを構築し、認証を受けることを提案。

答弁 平成18年から小千谷市環境基本計画を策定し、その計画に基づき取り組んでいる。小千谷市環境審議会において点検・評価を行い適切な進捗管理を行うことで、環境マネジメントシステムとして機能している。現状においては認証取得については考えていない。

質問 安価で環境にやさしい電力の購入も必要なこと。柏崎市の地域エネルギー会社からの供給も検討すべきであり、今から、協力体制も構築すべき。

答弁 電力の供給元として地域エネルギー会社も選択肢の一つであると認識。しかし、柏崎市地域エネルギー会社は、現在は事業化に向けた検討段階にあると認識しており、具体的に協力体制を構築できる段階にはないと受け止めている。

人材バンクと出前講座

質問 学びを応援する生涯学習人材バンクの設立並びに出前講座の整備・公開を提案。

教育長答弁 講師紹介の問い合わせには、過去の講座リストを活用し、生涯学習課が講師との調整を行い、対応している。市民への周知に努める。出前講座に関しては、地域、団体などの方々が講座、研修会などの開催を検討する際、参考となる一覧があることは、市民の学習機会の充実につながることを、講座の一覧として作成し、見える化などに努める。

ご覧になりましたか? Part1

小千谷市プロモーションビデオ・小千谷こい唄 YouTube「小千谷市公式チャンネル」で公開中です。



吉崎 進 議員



市立保育園を総て私立認定 こども園に移行することについて

質問 現在市内には市立保育園が休園を含む11か所、私立認定こども園が3か所ある。

令和2年度の予算書を見ると、市立保育園の運営に係る経費は約7億7千万円になっていく。この経費は総て市費により賄われている。私立認定こども園の運営費には、子どもための教育・保育給付金として国から約2億1千万円、県から約1億1千万円が給付され、市の負担は3分の1の約1億5千万円となっている。市立保育園を民設・民営に移行すれば、市の支出は大幅に削減され、削減された財源を他の分野に使うことができる。

また、令和元年10月より3歳児から5歳児までの幼稚園、保育所、認定こども園を利用する子どもたちの利用料が無償化されたが、これは保護者への支援

であり、市立保育所に直接支援されるものではない。

さらに、就学前の児童の教育と保育は一緒に行ったほうが良いと私は思う。

かつて市立さくら保育所を廃止し認定こども園に移行するとき、保護者から何で市立を私立にするのかとの質問を受けた。私は長年私立高校の教員の職についていたので、公立と私立の差は無く同じように教育していると話したが、理解されなかった。つまり、官尊民卑の気風が強い小千谷市においては市民の理解を早急にする必要がある。

答弁 今年度策定した小千谷市保育園適正配置基本方針により検討していく。保育園等の施設整備及び運営に対する支援制度は公立と私立では異なり、私立保育園等は、国、県及び市からの財政支援による経営で、市立保育園の多くは市の一般財源による施設整備及び運営であり、国及び県からの支援は原則ない。

多様な市民ニーズに応えるために保育園の適正配置に係る考え方として、民設民営方式または、民営化を基本とする。

森本恵理子 議員



「ひといちばい敏感な子ども、HSC」について

障がいや病気ではなく、生まれつき脳の働きが強く、敏感で繊細な気質を持つHSCは集団生活で生きづらさを感じている。

質問 赤ちゃんの時から親の感情を感じ取り、すぐに泣いたり背中スイッチがついていたり育てにくさを感じる親も多い。保育の現場で認知と対応の普及を進めるべきと考えるが見解は。

答弁 今後、研究していく。

質問 教育の現場ではどうか。

教育長答弁 認知普及と配慮ある対応は大切。職員研修等を活用しながら取組を進めていく。

質問 HSCは発達障害と混同されることもある。必要なのは支援ではなく配慮。見分ける力を持つことが重要と考えるが。

教育長答弁 親や教員が子ども
の特性を見分ける力を持つことは重要。

ポケモンマンホールをきっかけとした地域活性化について

質問 せっかくの集客をコラボ商品の販売等で消費に結び付けたり、SNSを利用し、錦鯉発祥の地のPRに結び付ける等、踏み込んだ施策を展開しては。

答弁 関連グッズの販売を検討していると伺っている。SNS等で魅力を広く発信していく。

デジタル教育環境について

質問 早く計画策定し、学校に對して今後のスケジュールを周知することが重要と考える。また、先生方の研修の必要性と在り方についての見解は。

教育長答弁 現在、教育委員会
で基本方針を取りまとめている。教員の研修は必要不可欠であり、実施を検討していく。

質問 各学校からのメンバーを含む委員会を立ち上げ、随時情報共有しながら学校での準備も進めていくべきでは。

教育長答弁 委員会の立ち上げを視野に入れながら準備を進めていく。

質問 教員の働き方を変える校務支援システムの進捗は。

教育長答弁 早期導入に向け準備を進めている。

ご覧になりましたか? Part2

ポケモンマンホール「ポケフタ」
錦鯉発祥の地・小千谷市にポケモン「コイキング」が描かれたマンホール出現。
市内4か所にあります。



長谷川有理 議員



人に寄り添う施策を

福島原発避難者への対応

質問 6月には16名登録だった市内在住の避難者の方が7月に一挙に0名になった。登録の解除は本人の意向ではなく、市から事後承諾の連絡が避難者にあったと避難者の方から聞いている。どうしてこのような対応になったのか。

答弁 応急仮設住宅の供与期間終了に伴い、3月に登録者に今後は聞いた際、解除の意向を示された。県から再確認の要請を受け、改めて全世帯に確認し解除の意向だったので7月に県に0名と報告した。

質問 避難者登録された方への支援で昨年と今年度で変更点はどういうものがあったか。

答弁 健康状況調査は対象者が不要と言われ今年度は実施せず。復興は早期の自立が肝心。

質問 健康状況調査も避難者登録

録も避難者の方から「意思確認ではなく解除を一方的に通告された」と聞いた。実態に大いに齟齬がある。様々な避難者の方の事情があり、行政の強い意向なく0名はあり得ない。再検証を行うべき。

答弁 再度登録を希望する方がいるか確認する。

新型コロナウイルス感染症への対応

質問 発熱外来やPCR検査センター設置や関係機関との連携を密にした対応を。

答弁 地域外来や検査センターは当地域の医師会でも現状は設置の必要はないと判断している。

質問 指定診療・検査機関が

市内にあることなど市がしっかりと情報発信すべき。粟島浦村以外県内500か所あると報道済。病院名まで公表する必要がないが正確な情報公開が安心安全につながる。

答弁 県が公表していない。

質問 今季のインフルエンザワクチンの不足をどう認識か。懸念はないとした厚労省への課題はないのか。

答弁 市にワクチン確保する責務はないが、市長会等通じて厚労省に課題を発信していく。

内山 博志 議員



タクシー券、原発への対応

新型コロナウイルスのクラスター

質問 感染などを防ぐため高齢者施設職員や生活道路確保のため除雪作業員のPCR検査費用を補助し、実施したらどうか。

答弁 検査は一時的な結果で、支援は考えていない。大切なことは、感染症対策の徹底だ。

質問 小規模事業者は仕事が激減し、営業と生活は深刻だ。持続化給付金のような支援が必要ではないか。

答弁 できることはしてきた。申請期間中であり、事業の検証もしていない。国が実施しているような支援を市独自に行う考えはない。

質問 プレミアム商品券は一定の役割を果たした。しかし、一番支援の必要な生活に余裕のない市民が恩恵を享受されていないことを心配している。全市民に恩恵ある商品券の配布を考え

てみてはどうか。

答弁 第1弾のプレミアムチケットは完売した。第2弾のチケット販売は約51%。行政は呼び水として事業を実施した。国の支援もある。感染状況を見極め、一律ではなく適時的確に対応する。社会福祉協議会とも連携し、制度を周知する。

質問 市は、平成29年に制度を

変更し、要支援者の介護タクシー券交付を廃止した。3分の2以上が除外された計算だ。要支援者1、2へのタクシー券の復活をすべきではないか。

答弁 自立支援の観点から可能な方はできるだけ路線バスなどの利用を。身体機能の維持・向上を図る事業を継続する。

質問 柏崎刈羽原発の再稼働に際して事前了解権を主張すべきではないか。新潟県が小千谷市の意見を聞く場面が来る、その時何を持って判断するか。市民の声と齟齬がないようにすべきだ。

答弁 県が県内市町村を包含し、技術委員会の検証により判断することを尊重する。具体的にはまだ考えていない。

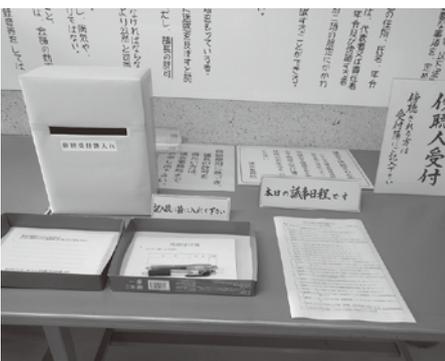
傍聴のご案内

◆市議会本会議は市役所4階議場で行われます。傍聴席入口に設置の傍聴受付簿にご自分の住所、氏名、年齢を記入すれば、本会議を傍聴できます。

傍聴席入口



傍聴受付簿に記入し、ポストへ。



上村 行雄 議員



コロナ禍における 地域経済対策について

質問 おぢやの応援券とプレミアム商品券の利用実績の検証と経済効果について。

答弁 利用状況見る限りでは、一連のプレミアム付き商品券における経済対策については、一定の経済効果が得られているものと考えている。

質問 コロナ禍により深刻な影響を受けた宴会中心の事業者への支援の必要性について。

答弁 これまで2回のプレミアム商品券事業により、消費拡大・需要喚起策を講じてきたが、宴会・会席を主な収入源とした事業者においては、非常に厳しい状況が続いていると認識している。したがって、感染拡大防止策を徹底したうえで、宴会や会席の需要を喚起する追加の支援事業を行う準備をしている。

質問 配分された交付金を活用した次年度へと繋がる継続性の

ある事業の必要性について。

答弁 これまで感染症対応地方創生臨時交付金の活用や財政調整基金の取崩しなどにより、市民の生活支援を含め必要な施策を実施してきた。今後も、感染拡大状況を注視し市内経済への影響について情報を収集し、必要な措置と来年度以降にも効果が及ぶ施策の迅速な実施に努める。また、国では12月8日に第3次補正予算と令和3年度当初予算を一体的に編成することを閣議決定しているため、今後詳細が明らかになり次第、的確に情報収集し、財源を有効に活用し当市の施策に適切に反映したいと考えている。

質問 官民による情報共有と連携強化を図るべく協議会の設立の提案について。

答弁 当市は、国や新潟県から示される最新の情報を注視しながら感染防止対策に取り組んでいる。今後も各種団体と意見交換を適時行い、対応したいと考えている。官民による新たな協議会設立は考えていない。



平澤 智 議員



旧小千谷総合病院跡 地整備事業について

質問 これまでに市民との意見交換で出された特筆すべき意見について。

答弁 令和2年7月からの官民連携支援業務において、グループインタビューを実施し、早期の施設整備や日常の居場所作りを望む声が出ている。

質問 今後の推進スケジュールについて。

答弁 既にシンポジウムを実施し令和3年2月から小千谷リビングラボの活動をスタートさせ、施設の活用やまちの課題の解決について考えていく。

質問 観光交流拠点としても検討していく計画はあるのか。

答弁 市民にとって日常的に訪れる居場所、遊び、学び、市外からも訪れたいくなる施設であるために地域ぐるみで創出していくことが重要であり、周辺施設との役割分担と連携により回遊

性を高めていきたい。

小千谷市におけるデジタル 化の推進について

質問 ペーパーレス化実現に向けての障壁について。

答弁 現在各種統計資料や報告書はデータ形式で保存されており紙媒体での提供も要望に対応できるように冊子でも対応している。他市間での相互配布もダウンロード形式に変わっている。今後も準備が整い次第、順次、電子媒体での提供を進めていくが一部規定等の見直しや関係機関との調整も必要。

質問 オンライン会議における問題点について。

答弁 職員が業務で使用するオンライン会議については支障なく行うことができる。公共施設等における一般の利用者が利用出来る無線LANについても今後環境整備に努める。



◆新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、 次のことを傍聴される皆様をお願いしています。

- ・発熱や咳などの症状がある方は、傍聴をご遠慮ください。
- ・マスクの着用、事前の手洗い、アルコール消毒液による手指の消毒をお願いします。
(アルコール液は設置しています。)
- ・着席の際には座席の間隔を空けてください。



大矢 弘光 議員



「GIGAスクール」について

質問 当事業の各教員に対して意思疎通や情報共有は、どのように行われているのか。

教育長答弁 校長会、教頭会等を通じて行われている。教育委員会において「事業化の基本方針」を1月頃を目途に取りまとめ、その後に機器に関する手引きや研修を計画していく予定。

質問 デジタル教材の選定は誰が行うのか。

教育長答弁 各学校で教科担当教員が中心となって選定を行うものと考えている。

質問 デジタル教材購入の費用負担者は誰か。また所有権はどこにあるのか。

教育長答弁 基本的には市で購入し、所有すると考える。教材によっては保護者負担が生じることもある。

質問 教員の経験等の個人差により授業での端末使用頻度に差

が生じると思われる。この差の許容範囲についてどのように考えるのか。

教育長答弁 教員の経験、担当学年や教科により端末活用度に差が生じることが想定される。

この差ができるだけ生じないように、ICT支援員の配置やソフトウェアの充実、教員を対象とした研修など教員支援が必要と考える。活用頻度については年度毎に検証を行う。

質問 ICT支援員、教育情報化コーディネーターについて。

教育長答弁 授業支援を行うICT支援員と同様の対応を行っている情報教育支援員1名が、各学校の支援を行っているが、支援員の拡充が必要、人材の配置を検討していく。

質問 教育データや学習ログの分析や利活用について。

教育長答弁 学習の、みどりや分析が容易になるため、今後、研修・研究を検討していく。

質問 児童生徒個人に合わせた学習進捗について。

教育長答弁 1人1台端末により個人のペースや習熟度に合わせた学習ができるかと考える。

佐藤 栄作 議員



鳥獣被害対策について

質問 県の鳥獣被害対策短期・応急対処の事業計画についてどこまで実施できたのか、関係職員の研修についてお伺いします。

答弁 鳥獣被害対策支援センター主催の「鳥獣被害防止対策養成研修会」に延べ人数5名が参加し、基礎情報の共有と人材育成に努め、情報提供では、緊急メール及びツイッターによりクマやイノシシの目撃情報等を配信し、必要に応じて広報パトロールを行い対応マニュアルの作成をしております。

質問 捕獲のワナを増やす考えがあるかお伺いいたします。

答弁 必要に応じてワナの数については、今後の出没状況などにより対応したいと考えています。

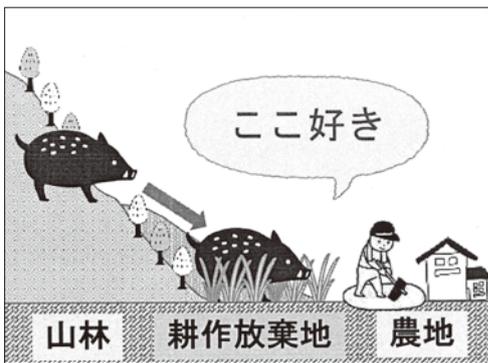
質問 電気柵の補助金の導入について考えているのか。

答弁 電気柵はイノシシ被害を防御する有効な手段の一つであり、利用に向けてイノシシ被害を受けた地域の農業者と市職員が電気柵の設置研修会に参加しましたが、維持管理が課題となり導入には至っておりません。

個人で購入した電気柵に対して補助金導入の考えはありません。

質問 新潟県から野生動物の個体数に関して調査依頼があったか、市内のイノシシ、クマの個体数は把握しているのか。

答弁 新潟県から個体数の調査依頼はなく、当市では個体数は把握していません。



市議会を傍聴してみませんか

第1回定例会開催予定

| | | |
|----------------|-----|-------------------|
| 3月1日(月) | 第1日 | 議案上程説明 |
| 3月4日(木)~11日(木) | | 各常任委員会で審査 |
| 3月16日(火) | 第2日 | 一般質問 |
| 3月17日(水) | 予備日 | 一般質問(質問者が多い場合に開催) |
| 3月19日(金) | 最終日 | 委員長報告、採決 |

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、団体での議会傍聴については議会事務局(Tel83-3505)へお問い合わせください。委員会の傍聴については、あらかじめ議会事務局へお申し出ください。

佐藤 隆一 議員



コロナ後を見据えた 病院跡地計画づくり

質問 小千谷市内農業の現況をお伺いします。

答弁 専業農家は217戸、兼業農家は1185戸、新規就農者は昨年12人です。農産物出荷額は22億6千万円（市経済の2%）で農業資材の取扱業や農産物食品産業などの広い分野において関連産業があげられます。

質問 最近増えている直売所の現状について伺います。

答弁 市内直売所7店舗、スーパーなどのインショップは6箇所にあります。また、農産物出荷者は130人ほどになります。

質問 直売所が増えている背景や行政がどのように関わりを持つのかについてお聞きします。

答弁 消費者にとっては生産者の顔が見える安心感があり、生産者は無理のない出荷ができて

すし、価格設定も自由にできるなどの利点があります。市としては情報を集め、出店の相談など関係機関・団体と連携し、対応していきたいと考えています。

質問 地産地消の広がりは一過性のブームではないと思います。考えをお聞きます。

答弁 コロナ禍の下で食に対する関心も高まり、全国のおいしいものを食べたいというお取り寄せニーズが伸びていると考えます。

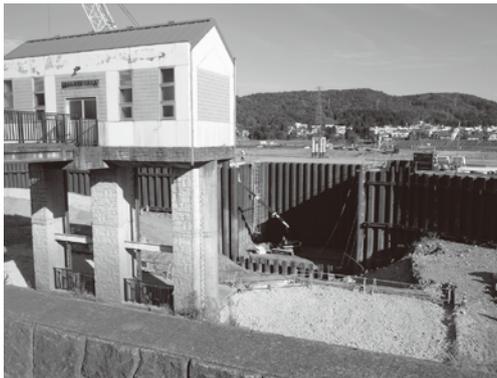
質問 生産者の情報交換や交流の場を提供する考えはありますか。

答弁 農家の担い手不足は大きな課題です。旧小千谷総合病院跡地利用の中で積極的な参画などによる賑わいづくりに期待します。



視察研修を行いました

10月21日に、国営信濃川左岸流域土地改良工事について北陸農政局の担当者から説明を受け、現地視察を行いました。
この事業は、小千谷頭首工からの取水量確保、農業用水の安定供給、維持管理の軽減等を目的に行われ、工事は令和7年終了予定です。



市議会だよりは誰が作っているの？



広聴広報委員会



今月号の原稿をチェック！

広聴広報委員会の7名の議員が編集しています。任期は2年です。次号の4月25日発行で100号を迎えます。
市民の皆さまに親しまれる紙面づくりを目指していますので、ご意見・ご感想などをお寄せください。

市政の内容を聞く 一般質問

〈10月〉

- 7日 広聴広報委員会
- 13日 広聴広報委員会
- 21日 国営信濃川左岸流域土地改良工事議員視察

〃 広聴広報委員会

- 27日 会派代表者会議
- 28日 議会改革推進委員会
- 30日 中越地区市議会議長会

(見附市)

〈11月〉

- 4日 民生産業委員会勉強会
- 6日 民生産業委員協議会
- 10日 全国市議会議長会建設運輸委員会(東京都)
- 12日 民生産業委員会
- 19日 広聴広報委員会
- 20日 議会運営委員会
- 25日 議会運営委員会
- 30日 第1回臨時市議会

〈12月〉

- 2日 第4回定例会(本会議)
- 〃 広聴広報委員会
- 3日 常任委員会連合審査会
- 4日 総務文教委員会
- 7日 民生産業委員会

- 17日 議会運営委員会

- 〃 本会議(第2日)

- 18日 本会議(第3日)

- 22日 議会運営委員会

- 〃 本会議(第4日)

- 〃 議員協議会

市議会だよりをアプリで配信中

スマートフォンやタブレット端末で使える無料アプリ「マチイロ」で配信中です。

最新号を発行日に自動でお届けします。ぜひご利用ください。

Android用



iPhone用



高橋 典子 (日吉)

「人の世話をすることが大好きで、はとも良い言い方ですが、自分のことをするよりおせっかい者だった私は、小さい子のお世話をする仕事をしたと思います。ご縁あってつくし幼稚園で働き、35年の月日が過ぎようとしています。

就職した当初は小千谷の人口も多く、年長園児36人を一人担任で受け持ち、船岡山の山道でドングリを拾ったり探検したり良くしたものでした。「みんな帰るよ!」と声をかけると一斉に集まって来て、何事もなく無事に帰って来たことを思い出します。現在当園は、認定こども園に移行し5年目となります。

た。0歳から5歳までが一緒に生活していて、日々成長していく様子が見られることがとても楽しいです。しかし人口減と共に園児も少なくなっている現実です。

今年コロナ禍で「密を避ける」ことを強く言われましたが幼い子と生活する上で「離れて」「リモート」というような保育はあり得ないことです。甘える、じゃれ合う、くっつく、それで満足安心するのが子どもです。又マスクをしての生活は口元も表情も見えず、声も聞きにくくうまく伝わらないことが沢山あります。月並みですが、給食を食べながら楽しくおしゃべりをしたり、手をつないでふれあい遊びをしたりする、ごく普通の日が一日も早く来ることを望みます。

新しい生活の中で、今まで経験したことのない三密を避ける園生活、webによる研修会や就活の面接など時代の変わり様に戸惑うことばかりです。それでもつくしの様に根っこでしっかりと繋がりが大空に向かって伸びる子どもたちと一緒に新しいことにも挑戦したいと思っています。

編集後記

明けましておめでとうございませう。

11月30日の臨時市議会において、発議案として期末手当の引き下げ、そして、12月第4回定例会においては「北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書」を全員賛成で可決。一般質問も含め、様々な政策提言、政策チェックを今後もしっかりと行つてまいります。

・ 昨年は、コロナ感染症で私たちの生活や経済は大きな変化を迫られ、また、マスクをするのが当たり前、外出自粛などどちらかというと我慢の一年でした。だからこそ、今年は期待と希望溢れる年にしたいものです。

・ 本年の干支は「辛丑(かのとうし)」です。「転換期」とか「始まり」、「粘り強い」、「努力家」などの意味があるようです。

まだまだ厳しさは続くと思われませんが、粘り強く前に向かって努力を惜しまず、新しい時代の始まり転換期とするために、私たち議員は皆様の声を聴きながら、全力で頑張つてまいります。

編集委員 住安 康一